

北薩感染症情報

2020年第40週(9月28日～10月4日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
小児科定点	RS	-	-	-		1	1	0.25	→	-	2	2	0.67	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-		-	1	0.25	↗	-	2	5	1.67	↗	-
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-		4	2	0.50	↓	-	3	2	0.67	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-		5	1	0.25	↓	-	-	1	0.33	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0		1	2	0.50	↗	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-		24	16	4.00	↓	◎	2	-	-	↓	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	突発性発疹	-	-	-		1	1	0.25	→	-	-	-	-	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-		1	-	-	↓	-	1	-	-	↓	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-		-	1	1.00	↗	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	1	1.00	↗	-
	クラミジア肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-		-	-	/	→	-	-	-	/	→	-	
報告数合計		-	-	-		37	25	/	↓	/	10	11	/	↗	/

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 手足口病(発生警報を11週連続発令中)
 ・出水保健所管内 なし

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

○ 第40週報のトピックス

◎ 10月1日～31日は、「臓器移植普及推進月間」です。

(警報・注意報)

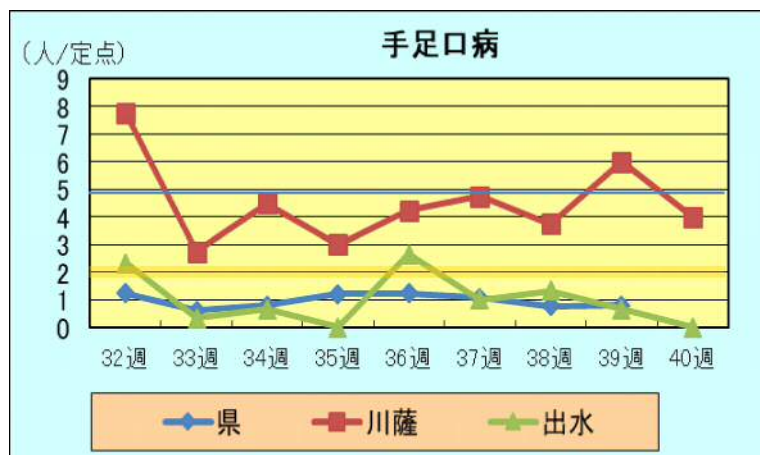
○ 手足口病について

【警報開始基準値：5.00 終息基準値：2.00】

第40週の手足口病の発生状況は、川薩保健所管内からは、**16名**（定点当たりの報告数 **4.00**）の報告がありました。

川薩保健所管内に、**流行発生警報11週連続**で発令中です。

出水保健所管内からは、報告がありませんでした。



○ 第40週報のトピックス

※ 新型コロナウイルスの参考資料（厚生労働省ホームページ）

○ 新型コロナウイルスに関する情報

【新型コロナウイルス感染症】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

【接触確認アプリ利用者向け Q & A】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/covid19_qa_kanrenkigyoku_00009.html

【一般の方向け】9月7日更新

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/dengue_fever_qa_00001.html

【新型コロナウイルス感染症に対する感染管理】改訂2020年5月20日

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200427.pdf>

【新型コロナウイルス感染症診療の手引き第3版】9月4日 更新

<https://www.mhlw.go.jp/content/000668291.pdf>

【鹿児島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報】

<https://www.pref.kagoshima.jp/ae06/kenko-fukushi/kenko-iryoku/kansen/kansensho/coronavirus.html>

【新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ）】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針第1版】

<https://www.mhlw.go.jp/content/000678571.pdf>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

病原体検査の指針

第1版

国立感染症研究所 国立国際医療研究センター

全国保健所長会 地方衛生研究所全国協議会 日本感染症学会
日本環境感染学会 日本臨床衛生検査技師会 日本臨床微生物学会

厚生労働省健康局結核感染症課



※ 新型コロナウイルス感染症の用語の使用について

世界保健機関（WHO）では、「**ソーシャル・ディスタンス**（社会的距離の確保）」ではなく、「**フィジカル・ディスタンス**（身体的・物理的距離の確保）」が重要であることを説明しています。

<言い換え例>

「人と人の距離の確保」

「身体的距離の確保」

「フィジカル・ディスタンス」

「キープ・ディスタンス」 等

インフルエンザを予防しよう

1 インフルエンザの主な症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れる。

子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがある。



2 インフルエンザの予防のために

- ① 流行前のワクチン接種
感染後に発病する可能性を低減させ、また、重症化を防止する
- ② 外出後の手洗い等
流水・石けんによりウイルスを物理的に除去。アルコール製剤による手指消毒も効果的
- ③ 適度な湿度の保持
空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下。加湿器を使って50～60%を保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がける
- ⑤ 人混みや繁華街への外出を控える
インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、睡眠不足の方は人混みや繁華街への外出は控える
やむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合には不織布製マスクを着用する

3 インフルエンザにかかってしまったら

～ まずは安静にし、休養をとりましょう ～

① 咳エチケットを守りましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）です。

感染者であっても、全く症状のない（不顕性感染）例や、感冒様症状のみでインフルエンザに感染していることを本人も気づかない軽症例も少なくありません。



したがって、周囲の人にうつさないよう、次のことなどを守るよう心がけてください。

- ・咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ・不織布製マスクをすること。マスクがない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他人に向けないこと
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ袋に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと

② 症状がなくなっても、人にうつす恐れあり

インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出すると言われています。無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

現在、学校保健安全法では、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。

ツツガムシに注意してください

鹿児島県では、11月から1月にかけて「つつが虫病」の発生届出が多くみられます。平成30年の感染症発生動向調査における発生状況は、鹿児島県では89件（全国453件）となっており、全国で最も多くなっています。4.7週に続いて4.8週も、川薩保健所管内からは1件の発生届出がありました。野山に行く際には、下記を参考に予防に努めてください。

つつが虫病とは

- 1 つつが虫病は、草むらや草木のよく繁った場所でツツガムシ（ダニの一種で大きさは、約0.3から0.5mm）に刺されておこる病気です。つつが虫病の人から人への感染はありません。
- 2 刺された箇所（刺し口）はまず赤く腫（は）れ、その周りが小さな水ぶくれになり、約10日後には黒いかさぶたとなります。この頃から全身のだるさ、頭痛、食欲不振、発熱など風邪と似た症状とともに、胸、腹、背中などに赤い発疹が現れ、39度から40度の高熱が続きます。
- 3 治療が遅れるとなかなか治らず、肺炎のような症状が現れ、せきが出たり、肝臓や脾臓が腫れるなど全身症状が強くなることもあります。

※ 予防や咬まれたときの対処法については、下記をご参照ください。

厚生労働省 ダニ対策

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。
野山に生息するダニに咬まれることで
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サングル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）
 - * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
 - * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意

ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】
① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動

約3cm 約0.5cm 約1.5cm
ペットボトルのキャップ マダニ(吸血前) マダニ(吸血後)

ダニ媒介感染症（厚生労働省）
各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考してください

平成29年4月

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時や屋内でも会話をすると、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「**3密**」の**回避（密集、密接、密閉）**
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

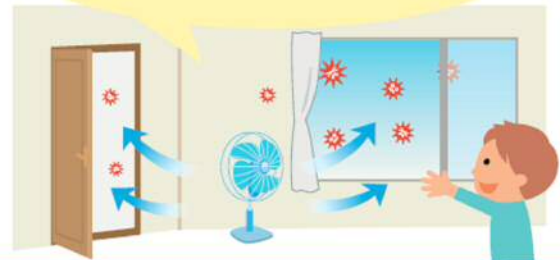
「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と
十分な距離を取る!



窓やドアを開け
こまめに換気を!



屋外でも密集するような
運動は避けましょう!

少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

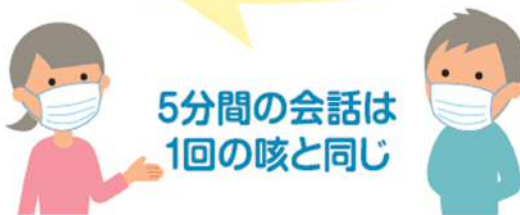


飲食店でも距離を取りましょう!

- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い違いに座る



会話をするときは
マスクをつけましょう!



電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう!

